

患者の皆様へ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の型に研究の参加を拒否するけんりが保障されております。(オプトアウト)  
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

記

研究機関名	市立豊中病院
倫理委員会承認日	2020年10月19日
研究期間	2023年12月31日 まで
研究の名称	胆汁瘻に対する経乳頭的ドレナージ術に関する検討
研究対象	市立豊中病院及び共同研究機関において、2014年4月から2019年3月の期間に、胆汁漏に対して内視鏡的にドレナージを施行した患者さんを対象としています。
対象材料	診療記録
対象期間	2014年 4月 ~ 2023 年 12 月
研究の目的意義	胆汁漏は胆汁が正常の胆管の外に漏れ出す病態で、肝・胆道系手術や外傷性肝損傷に合併することが多い疾患です。最近、治療として内視鏡的なドレナージが多く行われており、その有用性が示されています。本研究課題では市立豊中病院及び共同研究機関における胆汁漏に対する経乳頭的ドレナージの現状を把握し、ドレナージ方法の違いなどで臨床的成功率や効果及び偶発症の頻度の比較を行うことでより安全で効果的な経乳頭的ドレナージ術の方法を明らかにすることを目的としています。
方法	市立豊中病院および共同研究機関の電子カルテより、下記の情報を収集します。収集したデータから、胆汁漏に対する内視鏡的ドレナージ治療の現状を把握し、その成績やよりよいドレナージ適応を明らかにします。 情報:カルテ番号、病歴(現病歴・併存疾患・既往歴・家族歴・嗜好歴)、診断時の画像所見および画像経過所見、治療内容および経過、治療効果などを収集します。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、安全に管理する。研究結果から個人が特定されることはありません。
問い合わせ先	市立豊中病院 消化器内科 松本 健吾 TEL 06-6843-0101